

2022年8月31日

岩瀬コスファ株式会社

2025年日本国際博覧会

テーマ事業「いのちを拡げる」への協賛が決定

岩瀬コスファ株式会社(本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：岩瀬由典)は、このたび、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現する上で重要な取り組みである、テーマ事業「シグネチャーパビリオン」の中で、石黒浩テーマ事業プロデューサーが担当する「いのちの未来」館に、パートナーとして協賛することが決まりましたので、お知らせいたします。

岩瀬コスファは、「『美と健康』を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします」という企業理念の基、1931年の創業以来、化粧品・健康食品原料商社として、世界各国で事業を展開してまいりました。

このたび、石黒浩氏の「これからの人間は、科学技術を発展させ科学技術と融合しながら、『いのち』の可能性を飛躍的に拡げ、その多様な価値観と幸福感で人間自身や人間社会、そしてそれを取り巻く環境や生態系を発展させていく」というコンセプトに共感し、協賛することにいたしました。世界中の人々の豊かな暮らしと、より多くの喜びに貢献することを目指し、協賛企業の皆様と共に、50年後のいのちの未来を共創してまいります。

2025年に大阪・夢洲の万博会場から未来社会の姿を発信するため、「いのち」(人間・社会)の新たな在り方を創造し展示するテーマ事業「シグネチャーパビリオン」の実現に協力するとともに、大阪にて創業した企業として、大阪・関西万博の成功に向けて貢献してまいります。

◇パビリオン名 : いのちの未来

◇テーマ事業名 : 「いのちを拡げる」

◇テーマ事業プロデューサー : 石黒 浩 (大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所客員所長)

【ご参考】

■ 「シグネチャーパビリオン」とは

テーマ事業は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8名の専門家がつくるパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けました。

8名のテーマ事業プロデューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオンを建設します。

■ パビリオン名及びテーマ事業名、テーマ事業プロデューサー

パビリオン名	テーマ事業名	テーマ事業プロデューサー
Co-being	いのちを響き合わせる	宮田 裕章 (慶応義塾大学教授)
いのちの未来	いのちを拓げる	石黒 浩 (大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所客員所長)
いのちの遊び場 クラゲ館	いのちを高める	中島 さち子 (音楽家、数学研究者、STEAM 教育家)
null ²	いのちを磨く	落合 陽一 (メディアアーティスト)
いのち動的平衡 I am You	いのちを知る	福岡 伸一 (生物学者、青山学院大学教授)
いのちめぐる冒険	いのちを育む	河森 正治 (アニメーション監督、メカニックデザイナー)
EARTH MART	いのちをつむぐ	小山 薫堂 (放送作家、京都芸術大学副学長)
いのちのあかし	いのちを守る	河瀬 直美 (映画作家)

■ 2025 年日本国際博覧会協会 公式サイト

<https://www.expo2025.or.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

岩瀬コスファ株式会社

広報・秘書室 芹澤・後

TEL : 03-6841-3456